



男の娘メイドのご奉仕。

『男の娘メイド喫茶』
友人に教わり興味本位に入店した。
目の前にいたのは少女としか思えない可愛いメイド。
正直、だいぶ好みの見た目だった。
思わず釘づけになってみると店長が
「裏メニユーも有りますよ？どうですか？」と
小声で告げる。
裏メニユー？と不思議に思っていると
その裏メニユー表なるものを渡される。



そこには性的な奉仕と値段が綴られていた。
目の前のこの子としていいのか？
俺好みのメイドは恥ずかしそうに眼を逸らした。
では、と裏メニユーを頼むと店の奥に通された。
部屋に通されるとメイドは俺の前に座り、
上目遣いで見上げてきた。



え、えっと。
精一杯ご奉仕
させていただきます…。

まずは…
おクチでさせて
いただきます…。



お・お願いしますっ



もしかして
新人？

?!

ゴクッ

はい。

すみません。



が・頑張らせて
いただきますっ

んあ——っ
っ……っ







これで男かあゝ…
下に生えてるとか
思えないな…。

おおっ。
別に特別上手いわけじゃ
ないけど顔がかわいいい
からイケるっ。

くちゅ

くちゅ

すりゆす

すりゆす

すりゆす



おおっ
いい感じだった!
口に出すぞ!
メイドくん!

んっ!
んっ!
んっ!

すっ!
すっ!
すっ!





んく

んくっ

飲んでる
飲んでる
……。

〇〇〇〇〇〇〇

ご・ごちそうさま
でした…。
ご主人様…。

小さな口から白い粘液が垂れていた。
それなりに出したがほとんど飲み干してくれた
ようだ。
それでも俺のはまだ元気で早く続きをと
気が昂っていた。



本当にオトコノコなのか見せて。とスカートをめくった。
紺のスカートを口に咥えさせ、エプロンの裾も持たせた。



足の間には確かに男性の象徴が小ぶりながら存在
しており、背徳感を強く感じた。
気分は萎えるどころか余計に高まる。



ん
う

ん

びくっ

びくっ

っん
っん

おおお：
本当に生えてる
んだな……。
こんな可愛いのに



んっ…っ

びくっ

んっ!

びくっ

んっ

びく



んうう

んく

お。湿ってきた。
パンティーも
窮屈だろう。
脱がしてやろう。

びく
びく
びく
ぞく
ぞく
ぞく
くち
くち
しち
から
から
ぞく
ぞく



顔のイメージ通りの小ぶりなものが出てきた。
これを好きに弄っていいとは…。



少し考えて、部屋に備え付けられていたおもちゃに
手を出した。



いく？
いくとこ見せてよ。



びくんっ

びくっ

ぐわぐわ
びくっ
パタ

ヴヴヴヴ

びくっ

おっ
いきそう？



んぐううう！！

ふうううっ！！

びくっ

びくっ

びくっ

かくかくっ

びゅるるっ

びゅるるっ

かくっ


びゅるるっ



ベッドの上には開脚させたメイドくんが寝っ転がっている。もちろんふくらみのない平らな胸も見えるように前を開いた。



慎ましい菊座も丸見えて、今からここに自分のモノを入れるのか。と唾をのむ。



さてと
もうココ準備済
なんだって？
早速いれるから

は…はい



ぐっ
っ

あ...
っ

っんっ



あぁっ

あっ

おおっ
入る入る
よくほぐして
あるなあ
いい子だ

ぎぎぎっ

ぞくっ

び

び

ぬび...
びび...

くちゅ

くちゅ



よしっ
動くぞ…っと!!

ひんっ!

んくうっ!

びんびん

びんん

びんん

びんびん

すっ!すっ

すちゅっ

すりゅっ!



あっ!

あっ!
ああっ

びくびく

びくんっ

あっ!

びくびく

すっ! すっ

すちゅっ

すりゅっ!



ん
う

あ
う
っ

れ
い
い
:
す
い
:
う
っ
っ
:
:
!
っ

メイドくんのナカ
気持ちはいいよ。
メイドくんは？

び
く
ん
っ

び
く
ん
っ

び
く
ん
っ

び
く
ん
っ

す
っ
:
す
っ

す
ち
ゅ
っ

す
り
ゅ
っ
!



よしよし
ならもっと
してもいいな。

びんっ！

遠慮なく
激しくするぞ。
ちちゃんと奉仕
しろよ？

んあっ！
ああっ！

はらめしっ！
はらめしっ！！

びんっ

びんっ

ぐちゅぐちゅっ！

すちゅっ

すちゅっ！

すりゅっ！

びんっ



あぁっ!
あぁっ!
あぁっ!
ごしゅん
っさまあっん

あぁっ!
あぁっ!
あぁっ!
ひんっ!

びくびく

びくんっ

びくんっ!

びくんっ!

ぐちゅぐちゅっ!

すちゅっ

すちゅっ
すっ!すっ

すりゅっ!
すりゅっ!

びくびく



俺もイクっ
一緒にイケよっ

イクっ!
イっちゅっ
ましゅっ
うっ
っい

びくびく

びくんっ

ぐんぐん
ぐんぐん
ぐんぐん

すちゅっ
すちゅっ
すっすっ

すちゅっ

すりゅっ
すりゅっ
すりゅっ



オツ……う
オオ……っ!

びくんっ!

びくびく

びくんっ

ああ
っ!!
!!

あっ!!

びく
っ!!

ぐちゃぐちゃっ!

すちゅっ

すっすっ

すりゅっ!!



っ

.....

あへあっ!
ああっあ-----!!

ひ
ぐんっ!

が
が
が

ど
び
ゅ
る
る
っ
.....

び
ゅ
る
っ
.....

が
が
が



は...は...

は...は...

はあ...

ぴく

ぴく
ぴく

かく

どろお...


どろどろ...

かく

ぴく

かく

ひく



ふー…
なかなかよかったよ
また来るよメイドくん

あ…
ありがとうございます
再びのお帰りを…
お待ちしております…



おわり。





























































は・は・い…



おもちゃ入れて
1人でいくところ
見せて。





ああっ!

びくっ

びく

はっ
あんっ

ぐわぐわぐわ

ぶわぶわぶわ

びく



ごしゅじんさまあ！
あぁっ！

びくっ

びく
ん

んうう！
イクっ
いきますう！

グ
グ
グ
グ
グ
グ

ブ
ブ
ブ
ブ
ブ
ブ

びく
びく
びく

